



第 11 回全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、世界・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第 11 回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第 11 回世界ロープスキッピング選手権大会（平成 28 年 7 月 24 日～8 月 2 日開催予定・開催地スウェーデン）の代表選手の選考を行う大会とする。

1 大会名

第 11 回全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 11JC）

2 大会日時

平成 27 年 12 月 12 日（土）14:00～ ・13 日（日）10:00～18:30（予定）

12 日（土）計測種目・13 日（日）フリースタイル種目

3 大会会場

「BumB 東京スポーツ文化館」

〒136-0081 東京都江東区夢の島 2-1-3

アクセス：東京メトロ有楽町線、JR 京葉線、りんかい線 『新木場駅』下車、徒歩 10 分

都営バス「夢の島」バス停下車、徒歩 5 分

TEL：03-3521-7321

<http://www.ys-tokyobay.co.jp/>

4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

5 部門

本大会では以下の部門で個人戦は男女別、団体戦は性別を分けずに競技を行う。

<個人戦>

- 小学生低学年の部 : 2006（平成 18）年 4 月 2 日～2009（平成 21）年 4 月 1 日生まれ
- 小学生高学年の部 : 2003（平成 15）年 4 月 2 日～2006（平成 18）年 4 月 1 日生まれ
- 中高生の部 : 1997（平成 9）年 4 月 2 日～2003（平成 15）年 4 月 1 日生まれ
- 一般の部 : 1997（平成 9）年 4 月 1 日以前生まれ

<団体戦>

- 小学生低学年の部 : 2006（平成 18）年 4 月 2 日～2009（平成 21）年 4 月 1 日生まれ
- 小学生高学年の部 : 2003（平成 15）年 4 月 2 日～2006（平成 18）年 4 月 1 日生まれ
- 中高生の部 : 1997（平成 9）年 4 月 2 日～2003（平成 15）年 4 月 1 日生まれ
- 一般の部 : 1997（平成 9）年 4 月 1 日以前生まれ

※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

例

選手 A：大学生 選手 B～D：高校生 …一般の部

選手 A、B：中学生 選手 C、D：小学生低学年 …中高生の部

ただし、競技者数が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しなかった部門は、その部門をなくし、競技者は次のように指定の部門に移動して競技を行う。

- ① 小学生低学年の部が4人（団体戦は3チーム）に達しない場合は、小学生高学年の部と合わせて、小学生の部として競技を行う。
- ② 小学生高学年の部が4人（団体戦は3チーム）に達しない場合は、中高生の部と合わせて、小学生高学年・中高生の部として競技を行う。
- ③ 中高生の部が4人（団体戦は3チーム）に達しない場合は、一般の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ④ 一般の部が4人（団体戦は3チーム）に達しない場合、③と同様に中高生の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ⑤ 参加人数（チーム数）によっては、3つ以上の部門を統合する場合もある。
- ⑥ 個人戦で、必要に応じて男女の統合も検討

6 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、3～5人でチームを組み出場することができる。ただし、1人の選手が2つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。

世界選手権の選考を希望するチームは、4～5人でチームを組み、年齢区分を考慮しなければならない（詳細は「11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考」参照）。

7 競技種目

本大会では以下の個人戦（シングルロープ）5種目、団体戦6種目を開催する。各種目および総合で1～3位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、小学生低学年の部では行わない。参加は1種目から可能である。

<個人戦>

- ① 30秒スピード（かけ足とび）
- ② 3分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル
- ④ 30秒スピード（二重とび）
- ⑤ 三重とび（小学生低学年の部では行わない）
- ⑥ 個人総合（上記①～③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

<団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー（4人）
- ② ダブルダッチスピードリレー（4人）
- ③ シングルロープチームフリースタイル（4人）
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル（3人）
- ⑤ ダブルダッチ30秒シングルスピード（3人）
- ⑥ ダブルダッチ30秒ダブルスピード（4人）
- ⑦ 団体総合（上記①～④の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

8 定員

<個人戦> 各種目 80名

<団体戦> 各種目 32チーム

※定員になり次第締め切る。ただし、個人戦と団体戦の総数を見て、これより多く受け入れる可能性有。

9 総合順位計算方法

<個人戦>

個人戦の総合順位は、30秒スピード（かけ足とび）の順位、3分スピード（かけ足とび）の順位、フリースタイルの順位×2の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{30秒スピード（かけ足とび）の回数} \times 5) + (\text{3分スピード（かけ足とび）の回数}) + (\text{フリースタイルのD+C得点}) \times 2$$

※フリースタイルのDランク、D得点、CランクおよびC得点については、JRSF ホームページのフリースタイルルールブックを参照。

<団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルロープスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位、シングルロープチームフリースタイルの順位、ダブルダッチシングルフリースタイル(DD3)の順位の合計が小さいチームが上位となるように決定する。

順位の合計が同点の場合、総合得点（以下参照）の高いチームが上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (\text{シングルロープスピードリレーの回数}) + (\text{ダブルダッチスピードリレーの回数}) + (\text{シングルロープチームフリースタイルのD+C得点}) + (\text{ダブルダッチシングルフリースタイルのD+C得点})$$

例

<個人戦>

選手	30秒スピード			3分スピード			フリースタイル				個人総合		
	回数	得点	順位	回数	得点	順位	D得点/ Dランク	C得点/ Cランク	D+C得点 / D+Cラン ク	順位	順位の 合計	最終 順位	総合 得点
A	97	48 5	2	49 0	49 0	2	248/1	240/1	488/2	1	6	1	1951
B	99	49 5	1	50 0	50 0	1	180/4	210/3	390/7	4	10	2	1775
C	80	40 0	3	46 5	46 5	3	200/3	2006	400/7	3	13	3	1665
D	79	39 5	4	38 0	38 0	5	220/2	225/2	445/4	2	13	3	1665
E	70	35 0	6	38 0	38 0	5	175/5	180/5	355/10	5	21	5	1440
F	75	37 5	5	40 0	40 0	4	160/6	160/6	320/12	6	21	6	1415

10 参加資格

平成 27 年度日本ロープスキッピング連盟正会員、非会員とも、全種目に参加することができる。ただし、世界選手権の選考を希望する選手は、会員登録をしておかなければならない。

※会員登録については JRSF ホームページ「会員登録」 (http://www.jrsf.jp/?page_id=44) を参照。

11 世界ロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第 11 回世界ロープスキッピング選手権大会は、2016（平成 28）年に開催予定である（開催時期 7 月末から 8 月初旬、開催地はスウェーデン）。部門は World Youth Tournament 12-14 歳の部（以下 WYT、2002～2004 年生まれ）、International Open Tournament 15 歳以上の部（以下 IOT、2001 年以前生まれ）および FISAC-IRSF 15 歳以上の部（以下 WC、2001 年以前生まれ）である。全日本選手権とは部門や種目が異なるので、世界選手権に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に、選考用の順位表を作成し、それを参考にして、日本代表選手を選考する。

<個人戦総合順位による選考>

選考用の総合順位表を作成し、上位から順に、男女それぞれ 3 名を総合、2 名を種目別として世界選手権の個人戦日本代表選手として選考する。この選考を希望する選手は、以下の 3 種目全てに参加しなければならない。

なお、WC の個人総合および種目別の選考にもれた選手の中から総合順位上位 3 名、種目別 1 名については、IOT への選考対象とする。ただし、WC 個人戦と IOT 個人戦の両方への参加は認められていない。

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル

※三重とびに関しては 1 種目のみの参加も選考の対象とする。2001 年以前生まれの上位 2 名を WC への選考対象とし、もれた選手の中から上位 2 名を IOT への選考対象とする。WYT では三重とびの競技は行わない。

<団体戦選考>

この選考を希望するチームは、以下の 4 種目全てに参加しなければならない。

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ シングルロープチームフリースタイル
- ④ ダブルダッチシングルフリースタイル

● 年齢

14 歳以下の部に出場する場合、チームの選手全員の年齢が 2016（平成 28）年末時点で 12～14 歳でなければならない。15 歳以上の部のうち WC に出場する場合、チームの選手全員の年齢が 2016（平成 28）年末時点で 15 歳以上でなければならない。IOT に出場する場合チームの選手 1 名の年齢が 2016（平成 28）年末時点で 15 歳以上でなければならない。また、チームは 4～5 名の選手で構成しなければならない。

※第 11 回世界ロープスキッピング選手権大会ルールブックに準拠。ルール改定によりチーム構成に影響が生じる場合は、選考委員会で検討。

また、全日本選手権から世界選手権参加時においてチームの選手を変更する場合は、4 名のチームの場合は 1 名、5 名のチームの場合は 2 名の変更まで認められる。

但し、チームの性別（男子・女子・男女混合）が変更される選手変更は認められない。

（例：男子チームで選考後、選手 1 名が女子選手と変更され、男女混合チームとなる、というのは不可）



- **注意点**

中学生以下の選手は、原則として保護者が世界選手権大会に付き添うことができなければ、代表選手にはなれない。ただし、JRSF に加盟する団体（なわとびクラブやサークル）のメンバーで、且つ、国際大会（アジア選手権、世界選手権）への出場が2回目以上で、所属団体から引率者がいる場合であれば、例外を認める。

※2015年10月24日版（内容は修正・更新される場合があります。）